# ● うるま市立石川中学校 ●

# ~ 私達の生活を支える産業を学ぶ ~

#### ◆講師名

<物流・流通産業> 琉球通運株式会社 石川 勇人 氏

(総合物流 (国内物流・国際物流 等))

<建設産業> 冨山 嘉一 氏 (建設業に携わる個人として登壇)

#### カリキュラム

#### ○物流・流通産業

- ・物流・流通産業について 配送や荷役、輸送等、6項目からなる産業
- ・物流・流通の仕事について
- ・講師のライフストーリー

#### ○建設産業

- ・建設業の魅力と仕事について
- ・社会的役割について
- ・工事の流れについて

# 🧼 児童生徒の声(実施後の事後アンケートより記載)

- ・今回の授業で私は仕事内容、仕事のやりがい等を聞いて、仕事をしたいと思いました。
- ・この授業を通して、私達が暮らしている中でたくさんの人が関わって いることを知ることができた。
- ・仕事の種類は様々あるとわかり、仕事のやりがいとはこんなことなん だなと聞いてわかりました。自分の夢もそろそろ決めていきたいなと 思った。
- ・物流業や建設業等の仕事の仕方や内容を知って初めて発見したことが多すぎてびっくりしました。すごく勉強になりました。
- ・物流業も建設業もそれぞれ誇りをもって働いているのだとわかった。
- ・自分が今までになかった知識が今回の講話を通して得ることができました。将来の仕事についての視野が広がり、とてもいい機会だったなと思いました。
- ・仕事をしていてのやりがいって大切なんだなと思いました。

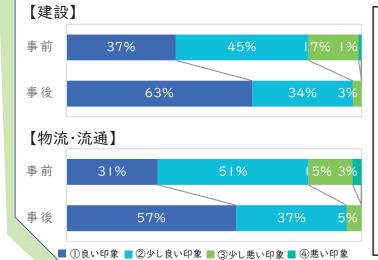
# ●取組みのPoint

- ・各産業の仕事の内容について知る。
- ・各産業の社会的役割を知る。
- ・仕事へのやりがいや魅力がわかる。
- ・仕事の楽しさや大切さを学ぶ。





### ◆石川中学校アンケート結果 「産業のイメージについて」



講話前は建設産業、物流・流通産業共に、「良い印象」「少し良い印象」合わせて82%の回答だったが、講話後には「良い印象」合わせて建設産業97%、物流・流通産業94%となっており、良い印象への回答が増えていました。児童からの声では、『建設産業がないと道路とかがなくて移動とかできなくなる』『物流業があるおかげで私達は生活できているから』という声が挙がっていました。

# 🍑 沖縄県立球陽中学校 🌑

# ~ 将来、なりたい職業の選択肢を増やす ~

#### ◆講師名

<福祉産業> 株式会社リンクス 代表取締役 與那城 将 氏 (重度介護・医療ニーズが必要な高齢者へケアを 行っている、有料老人ホーム) <建設産業> 株式会社具志堅建築設計事務所 山城 勝久 氏

(住宅、学校、病院、福祉施設等、様々な用途・ 規模の建築や空間の設計・監理を行なっている)

#### カリキュラム

#### ○福祉産業

- ・講師のライフストーリー
- ・介護の仕事について
- 課題解決ロジック

#### ○建設産業

- 講師のこれまでの道のり
- ・建設業の仕事の魅力とやりがい
- ・建設産業の中の様々な職種
- ・講師がこれまで設計してきた事例紹介

### ●取組みのPoint

- ・各産業の社会的役割を知る。
- ・各産業の仕事のやりがいや楽しさを 知る。
- ・『働くとは何か』を考える。
- ・自分自身の将来をイメージする。

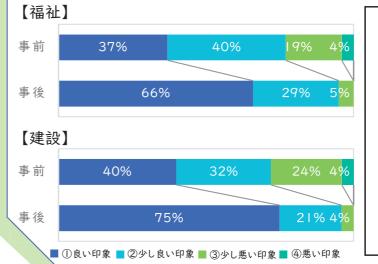
# 児童生徒の声(実施後の事後アンケートより記載)

- ・今まで自ら知ろうとしなかったことを知ることができ、とてもいい機会になった。
- ・実際に働いている人のお話を聞いて、仕事で大切にしていることやそこに至るまでの道のり等を知り、とても貴重な体験になりました。今日学んだことを職場体験等の際に活かせればなと思います。
- ・話を聞いて仕事の中でやりがいや楽しさを見つけることが大切だと思いました。
- ・他の人のためにということが心に響いた。これから利他という言葉を 頭に入れて行動したいと思った。
- ・一つの仕事に色々な人が関わっていることややりがいや魅力等、様々 なことがわかり、興味が出ました。
- ・色々な職業の方のお話を聞けたのは、将来の職業を決めるためのよ い経験となりました。





### ◆球陽中学校アンケート結果 「産業のイメージについて」



講話前は福祉産業について、「良い印象」「少し良い印象」合わせて77%、建設産業72%の回答だったが、講話後には「良い印象」「少し良い印象」合わせて福祉産業95%、建設産業96%となっており、良い印象への回答が増えていました。児童からの声では、『人のケアをして、本人や家族を喜ばせることができるから』『依頼してくれた方にとっての良い建物を作ろうとしているから』という声が挙がっていました。

# 🗪 中城村立津覇小学校 🌑

# ~ 日々の勉強や学ぶことの大切さを知る ~

#### ◆講師名

< 医療産業 > コミュニティナース 金城 有紀 氏

(地域看護や予防医療、公衆衛生を学び、コミュニティーナースとしてイベントの開催や講演活動、ヘルスケアの個別相談等に携わっている)

### カリキュラム

#### 〇医療産業

- ・講師のライフストーリー
- ・医療産業の様々な職種
- ・地域医療や予防医療の必要性
- ・体験『ペットボトルを使った<mark>心肺蘇生法』</mark> 生徒同士または授業参観で来校している保護者とのペ アで体験

#### 〇文化産業

- 講師のライフストーリー
- ・絵本作家の仕事に就くまでの道のり
- ・自分のやりたいことを諦<mark>めな</mark>いこと
- ・体験『色水実験で自分<mark>色をつ</mark>くろう』 好きな色を混ぜて自分色を作成する

### ●取組みのPoint

- ・各産業について知る。
- ・話を聞くだけでなく、体験も通すことで 仕事のやりがいや魅力について知る。
- ・講師のライフストーリーを聞くことで、 自分自身の将来をイメージする。
- ・職業の幅が広がり、各産業へ興味関心を持つ。
- ・『働く』について考える。
- ・仕事の楽しさ、大切さを学ぶ。

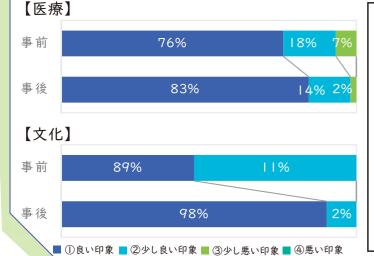
# 🧼 児童生徒の声(実施後の事後アンケートより記載)

- ・医療産業は、人を助ける姿がとてもかっこよくて、色々な人が関わっているんだと思いました。文化産業も、人を笑顔にできるし、自分の好きなことを仕事にできる嬉しさも伝わってきました。
- ・将来の仕事についてすごく勉強になったし、人のためにできることや 自分の趣味を仕事にして色々な仕事があるんだなと思いました。そ のために勉強の努力さがよく伝わってきました。
- ・今回は、自分の知らない職業や就職の幅を広げてくださりありがとう ございました。これからも、自分の夢に向かって色々調べたり、趣味を 見つけたりして夢を多く持てるように頑張りたいです。





### **◆津覇小学校アンケート結果** 「産業のイメージについて」



講話前は医療産業について、「良い印象」「少し良い印象」合わせて94%の回答だったが、講話後には「良い印象」「少し良い印象」合わせて97%となっており、良い印象への回答が増えていました。文化産業は、「良い印象」が89%から98%に増えていました。児童からの声では、『人々の命を守るまたは、大事にするのは素敵だなって思った』『人を笑顔にできる仕事が面白かった』という声が挙がっていました。

# 🕨 沖縄市立越来中学校 🌑

# ~ 職場体験に向けて、職業観・勤労観の意識を高める ~

#### ◆講師名

< 観光リゾート産業 > 星ソムリエ 当山 昌治 氏 (星空案内人として、星空や宇宙の楽しみ方を教えている) <医療産業> 琉球大学医学部保健学科 山口 航 氏(教え子同席:琉球大学生) (看護学等を教えている)

#### カリキュラム

#### ○観光リゾート産業

- ・講師自身のライフストーリー
- ・講師の仕事について
- ・専門ソフトを使用しての『宇宙旅行体験」
- ・講師の今後の夢と目標

#### 〇医療産業

- ・講師自身のライフストーリー
- ・看護師が働く場所 病院だけでなく、地域の中でコミュニティーナースとして 働くこともできる
- ・体験『ペットボトルを使った心肺蘇生法』 グループに分かれて体験

### ●取組みのPoint

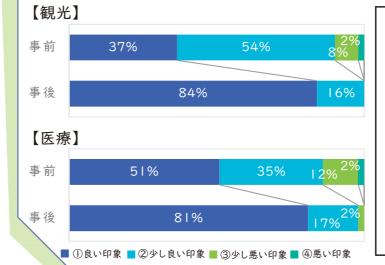
- ・各産業の魅力を知る。
- ・仕事の楽しさ、大切さを学ぶ。
- ・各産業には、様々な職種があることが わかる。
- ・仕事へのやりがいや魅力がわかる。
- ・講師のライフストーリーを聞くことで、 自分自身の将来をイメージする。
- ・職業の幅が広がり、各産業へ興味関心を持つ。

### 🤍 児童生徒の声(実施後の事後アンケートより記載)

- ・I 月の職場体験に向けて、仕事は大変なものだと改めてわかった。 けれど、一番やりがいを感じて楽しいこともわかった。
- ・普段聞けないことが聞けて、自分は将来どう働きたいかを考えること ができた。
- ・医療産業は、思ったより大変だし、観光産業は、思ったより大変そうだ けど、楽しそうで、やってみたいなと思った。
- ・お話を聞いて、仕事のやりがいや大変さ、楽しさがよくわかりました。 将来、仕事をするときに活かしていきたいと思いました。
- ・楽しそうな仕事がたくさんあるとわかった。



### ◆越来中学校アンケート結果 「産業のイメージについて」



講話前は観光産業について、「良い印象」「少し良い印象」合わせて91%、医療産業86%の回答だったが、講話後には「良い印象」「少し良い印象」合わせて観光産業100%、医療産業98%となっており、良い印象への回答が増えていました。児童からの声では、『みんなを楽しませていて、とてもいいと思った』『全力で支援していることがわかった』という声が挙がっていました。